

熊本地域医療

当院HPは
こちらから



センターだより

院長 杉田裕樹

令和3年(2021年) 5月発行

熊本地域医療センター電話番号(代表) 096-363-3311 FAX 096-362-0222

〒860-0811 熊本市中央区本荘5丁目16番10号 <https://www.krmc2.org>

2021 6 月号 通算193号

熊本地域医療センター 理 念

かかってよかった。

紹介してよかった。

働いてよかった。

そんな病院をめざします。

contents

「友達の輪～Relay トーク 第11弾」

地域医療を支える One Team …… P 1

新任挨拶…………… P 2～4

「友達の輪～Relay トーク 第11弾」 地域医療を支える One Team

宮本外科・消化器内科 みやもと 宮本 だいすけ 大典



皆様こんにちは。
熊本高校の同期で
ある 森下祐子先生
からご紹介いた
だきました。

出動協力医の部
屋には、2枚の絵

が飾ってあります。私の父が描いた南阿蘇の山と、田嶋哲郎先生の描かれた天草の海の絵です。この部屋に来るたびに、父や哲郎先生の事、この病院が出来た当初のことや、私達に託されたメッセージなどを思い出し、気を引き締めて日々の業務に当たっています。哲郎先生の御子息である哲先生は現在熊本市医師会理事として私と一緒に医療情報を担当していただいています。

私が開業したのは1995年の10月。卒後5年目で、熊本大学医学部第二外科での初期研修と外勤を終えて大学院（腫瘍医学教室）2年生の頃でした。父の死去に伴い修行半ばで自分の看板を背負って第一線での開業を余儀なくされたわけです。どの分野でも未だ中途半端な状態で自分が出来ること、これからはしなければならないことを模索しながら、日々の診療にあたっておりました。そんな時に助けていただいたのが医師会病院でした。ちょうど同期の沖野哲也先生が外科に所属しており、東謙二先生という大変面白い後輩（私が指導医でしたが突如開業しないといけなくなったため、別府先生直に有難い指導を受ける羽目になった、自称：医師会病院の風紀委

員！）もいましたし、外科のボスは尊敬する八木先生でしたので胃癌の患者さんなどの手術などを一緒にさせていただきながら（幸い現在まで再発なく元気で通院されており、診療のたびに当時を思い出します）、手術着が汗びっしょりだった感覚は今でも忘れません。

準備万端で開業される先生方、急遽開業せざるを得なくなった先生方、色々なケースがあると思いますが、やはり自分一人で看板を背負って地域医療に飛び出していくと、誰かに相談したくなったり、外来から自宅に帰るのが心配な方がいらっしゃったりするケースに遭遇することがあると思います。そんな時にはぜひ医師会病院の連携室にお電話ください。私が駆け出しの頃は当時の連携室長であった田上正先生の「いいよ！」という言葉に何度も助けられました。独りじゃない。ワンチームで地域医療を支えるんだ。そんな気持ちにさせてくれる、勇気づけてくれるスタッフの皆さんに感謝です。あと2年で還暦を迎える年齢になりましたが、今後は今までの恩返しと次の世代につなげる取り組みをしてゆかねばならないなど、この出動協力医室の絵を眺めながら日々思いを新たにしているところです。皆様、今後とも宜しくお願い申し上げます。

今回のRelay トークは、私の前任の病院担当理事であった 豊田徳明先生（豊田消化器外科医院）です。現在は医師会病院の運営委員としてお世話になっています。

新任挨拶



外科部長

ますだ 増田
としろう 稔郎

このたび外科に赴任いたしました増田稔郎と申します。

平成12年に旧熊本大学第二外科に入局し、旧国立熊本病院、水俣市立総合医療センターで研修、熊本大学消化器

外科で大学院を修了後、九州大学第2外科、熊本総合病院、アメリカ留学（日本肝胆膵外科学会の留学制度で、メイヨークリニック、UCLA、ジョンズホプキンス大学で計2年間臨床研究、現在も趣味は英会話です）、その後、済生会熊本病院を経て、こち

らに参りました。若輩、未熟ですが、外科部長を拝命し、大変緊張するとともに、身の引き締まる思いです。

私は、これまで肝胆膵外科、とくに原発性肝がん、転移性肝がんの手術、治療を多く経験させていただきました。当院では、消化管癌、肝胆膵癌、内視鏡外科などの、安全かつ根治性の高い手術、治療を目標に、自己の研鑽とチーム全体のレベルアップを目指していきたくと考えています。

ガイドラインを基本にしつつ、患者さんお一人お一人にベストマッチしたテーラーメイドの治療を、医師会の先生方のお力をいただきながら行っていければ幸いです。ご指導、ご鞭撻のほど、宜しく願いいたします。



外科

くろき 黒木
ひでゆき 秀幸

4月1日より赴任致しました黒木と申します。2009年、2015年に1年ずつ熊本地域医療センターでは勤務いたしましたが、今回で3回目の赴任となります。出水総合医療セ

ンターで約4年、人吉医療センターで1年の勤務の後、5年ぶりに戻って参りました。消化器外科全般の診療はもとより、癌診療においては化学療法を用

いた集学的治療により根治を目指した外科治療を行いたいと思います。当院は医師会病院としての性格上もありますが、診療科間の垣根が低く、紹介顶ければ比較的早く、治療に結び付けられる病院と思います。このフットワークの軽さを実践出来るように努めたいと思います。

熊本地域医療センターの理念は、「かかってよかった、紹介してよかった、働いてよかった、そんな病院をめざします。」です。患者様、紹介して頂いた先生方、そして一緒に働く方々が満足して頂ける診療を目指していきたくと思います。御指導、御鞭撻の程、宜しく御願い申し上げます。



外科

うえむら のりお
上村 紀雄

4月より外科に赴任しました上村紀雄と申します。平成25年に熊本大学を卒業後、初期臨床研修を経て、熊本大学消化器外科に入局しました。

その後、熊本大学、国立病院機構熊本医療センター、宮崎県立延岡病院での研鑽を経て、大学院に入学し膵癌についての研究を行ってまいりました。

2年間の研究生活で臨床を離れておりましたので、不安と期待が入り交じった気持ちで4月を迎えました。当院の基本理念である「かかってよかった。紹介してよかった。働いてよかった。」を実践していけるように、一人一人の患者さんに真摯に向き合ってまいります。肝胆膵外科が専門ですが、消化管外科、乳腺外科、化学療法まで当施設のニーズにあった外科診療を行って参ります。

皆様と力をあわせて、熊本の地域医療に貢献出来るように頑張る参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

糖尿病代謝内科

ありま ゆか
有馬 由佳

本年4月より糖尿病・代謝内科に赴任しました有馬由佳と申します。前年度は国立病院機構熊本医療センターに勤務しており、糖尿病や内分泌疾患全般を中心に診療しておりました。

既にご承知の通りですが、糖尿病患者数は急速に増加傾向にあり、今や国民病と言っても過言ではない状況にあります。熊本県においても全国の傾向と

同様に糖尿病患者数の著しい増加を認めており、加えてメタボリックシンドロームや高血圧、脂質異常症を有している割合も全国と比べて高くなっております。いずれも早期に介入し良好なコントロールを維持することで合併症の発症及び進展を阻止し、健康な人と変わらないQOLの維持、健康寿命の確保を目標に診療を行っております。今後も地域の患者様により良い医療を提供できるように、かかりつけ医の先生方と連携し丁寧な診療を心がけてまいりたいと思います。至らぬ点多々あるかとは存じますが、何卒よろしくお願い申し上げます。



小児科

よねだ なるみ
米田 成美

4月より福田病院より小児科に赴任いたしました、米田成美と申します。八代市の出身で大分大学を卒業したのち、熊本中央病院で2年間初期臨床研修を行いました。熊本県で小児医療に携わりたいと思い、熊本大学小児科に入局し半年ごとに熊本県内の様々な病院に勤務しながら勉強させていただ

いています。昨年度は熊本市市民病院と福田病院のNICUでそれぞれ半年間ずつ新生児科として新生児の医療に関わっていました。

現時点で当院での勤務は4月から9月末までの半年間の予定となっています。短い間ではありますが子ども達、当院の先生方、スタッフの皆様、開業医の先生や当直に来られる先生方から様々な考え方、診療の進め方などを学んでいきたいと考えております。小児の救急診療や外来診療は久しぶりであり、慣れない点や至らない点多々あるとは存じますが、少しでも熊本の医療に貢献できるよう努めてまいりますのでご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



消化器内科

かしわだ あやか
柏田 彩圭

令和3年4月1日より消化器内科に務めさせていただくことになりました柏田彩圭と申します。私は、出身は熊本市で、平成30年に熊本大学を卒業し、熊本労災病院での2年間の初期臨床研修を終え、1年間の熊本大学病院での勤務を経て、この

度赴任することとなりました。

今年度で卒後4年目となりまして自分の出来ることに対して変化を少しずつ実感してはおりますが、まだまだ先生、コメディカルの皆様には大変なお力添えいただいている状態です。さらに今年度からは外来診療など初めて経験することが多々あります。そのため、いろいろご迷惑をお掛けすることもあるかと存じますが、一つずつ着実に身に付けれるように専心努力し、少しでも熊本の地域医療に貢献できるよう精一杯頑張りたいと存じますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



脳神経内科

やまかわ しおり
山川 詩織

本年4月より脳神経内科非常勤医として赴任しました山川詩織と申します。毎週金曜日に外来をさせていただいています。

現在は卒後9年目で、今までの勤務先は熊本大学病院、済生会熊本病院、国立病院機構熊本医療センター、国立病院機構熊本南病院などで、前年度は熊本市市民病院に在籍しておりました。

当科は脳梗塞、片頭痛などのcommon diseaseか

ら、パーキンソン病やALSを始めとした神経変性疾患、重症筋無力症やギラン・バレー症候群などの自己免疫性疾患、遺伝性トランスサイレチンアミロイドーシスや筋強直性ジストロフィーなどの遺伝性疾患、その他多様な疾患を診療しております。神経疾患は「治療法がない」とのイメージが強く、まだ根治的治療は発見されていない疾患も多いのが事実ではありますが、近年は脳梗塞の血管内治療、遺伝性トランスサイレチンアミロイドーシスにおけるRNA干渉療法など新たな治療法が次々開発されております。まだまだ修行中の身で至らぬ点多いとは存じますが、何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



腎臓内科

やまさき ともこ
山崎 朋子

4月より腎臓内科外来を担当することとなりました、山崎朋子と申します。平成20年に久留米大学を卒業し、2年間の初期臨床研修の後、熊本大学腎臓内科に入局いたしました。

入局後は腎疾患の診療、血液透析や腹膜透析などの血液浄化療法などを経験して参りましたが、現在は3人の子育てとの両立のため、非常勤医師として

熊本大学病院での外来診療や血液透析施設での勤務などに従事しております。熊本地域医療センターでは、これまでの経験を活かし、患者様やご家族に信頼される丁寧な診療を行っていきたくと考えております。入院治療が必要な場合には熊本大学病院をはじめとした各病院の腎臓内科と連携を図り、患者様に必要な医療を提供できますよう努めて参ります。

まだ短期間ではありますが、既に各科の先生方、スタッフの方々には温かくサポートしていただき、ありがたく感じております。熊本の医療に少しでも貢献できますよう尽力したいと思っておりますので、これからもご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

研修医

ささき ゆかこ
佐々木 由加子

初期研修医1年目の佐々木由加子と申します。今年の4月から来年の3月まで、当院で研修させていただき予定となっております。

生まれも育ちも熊本で、子供の頃発熱した際当院の夜間救急外来でお世話になりましたが、この度は研修医として再びお世話になることとなり、とても感慨深く感じております。

当院でお世話になってまだ日は浅いのですが、未熟ゆえいろいろとご迷惑をおかけしているにもかかわらず、

わらず、先生方をはじめ看護師の方々やメディカルの方々、スタッフの皆様がとても優しく、いつもお気遣いいただき、感謝の気持ちでいっぱいでございます。このような大変恵まれた環境の中で研修をさせていただいていることを大変ありがたく存じます。その御恩に報いることができるよう、ご指導・ご鞭撻を賜りながら日々尽力して参る所存です。

今年も引き続き世界的な感染症が世の中を不安にさせておりますが、未熟ではございますが、医療者の1人として自分にできることを考え、より良い医療を提供すべく精進して参ります。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

熊本地域医療センター勉強会のお知らせ

日時／2021年6月28日(月)
19:00~20:00

会場／Web講演会

※COVID-19拡大に伴い、当面の間院内会場での直接参加を中止とし、Web講演会のみでの聴講とさせていただきます。状況が改善すれば院内会場への参加を再開する予定です。

※申し込み案内は熊本市医師会ニュースにてお知らせいたします。

※予定が変更になる場合がありますのでご注意ください。

①症例報告

『呼吸不全を合併した癌性中枢気道狭窄患者に対する経気管支的マイクロウエーブ焼灼術の有用性』

呼吸器内科 柏原 光介 医師

②特別講義

『熊本地域医療センターの手術症例の現況と臨床麻酔の最近の話題について(仮)』

CC7:医療の質と安全 麻酔科 柳 文治 医師

熊本地域医療センター

■医師へ直接紹介される方はこちら

☎096-363-3311(代表)

■何科に紹介するか迷っている場合はこちら

※ベテラン看護師が対応いたします!

(平日9:00~17:00) ☎096-372-0600

■画像診断・内視鏡などの検査予約はこちら(連携室)

☎096-366-1323

編集後記

Y 友達の輪~Relay トーク第11弾は、医師会病院担当理事の宮本大典先生に、急遽開業せざるを得なくなったご自身と医師会病院のことを「地域医療を支えるOne Team」として詳細に書いていただきました。新しいメンバーも迎えてコロナ禍でも頑張っています。患者さんのご紹介をお願いいたします。

K 連携室の受付嬢が、5月末で産休に入ります。初々しかった彼女も、すっかりママの顔になりました。出産まで、あと少し。マタニティライフを楽しんで、逆子体操、頑張ってください!ちなみに、2人目です!(^^)!

H 新型コロナウイルス感染症が再び拡大し、第4波が到来しています。熊本も含め各地で最多の感染者数が確認されました。東京2020オリンピック…、はたしてどうなるのでしょうか。。